



麻生首相を指名

外務 中曾根氏 少子化 小淵氏

自民党の麻生太郎総裁
(68)は二十四日午後、衆
院本会議の首相指名選挙
で第九十二代、五十九人
目の首相に選出された。
野党が多数を占める参院

は民主党の小沢一郎代表
(66)を指名、衆院の議決
を優先する憲法規定に基
づき両院協議会が開かれ
たが不調に終わり、衆院
の議決を優先する憲法規

定に基づき麻生氏の首相
就任が確定した。
麻生氏はただちに組閣
作業に着手し、同日夜に
麻生内閣が発足。各党は
十一月上旬にも想定され

る衆院選決戦に向け臨戦
態勢に突入する。閣僚人
事は、本県関係では、外
相に中曾根弘文元文相
(62)、小淵優子衆院議員
(34)が戦後最年少の閣僚

として少子化担当相で入
閣する。
二度にわたる任期途中
の首相退陣劇で自民党に
は世論の厳しい視線が注
がれており、自公連立政
権を維持できるか、麻生
首相は正念場を迎える。



衆院本会議で首相指名の宣告を受け、福田康夫氏(右)と共に
議場を後にする自民党の麻生総裁=24日午後4時56分

麻生氏は国連総会出席
のため二十五日から訪
米。帰国後の二十九日に
所信表明演説を行い、景
気対策に全力を挙げる考
えを表明、二〇〇八年度
補正予算案の早期成立に
向け野党に協力を呼び掛
ける。

焦点の衆院解散のタイ
ミングに関しては、補正
予算成立後の「話し合い
解散」を提案している民
主党の対応や世論の動向
を見極め最終判断する。

福田内閣は二十四日午
前の臨時閣議で総辞職し
た。福田康夫首相は「公
務員制度改革や行政経費
の削減など『国民目線』
の改革の進むべき道標を
立てることができた」と
実績を強調する談話を発
表した。